

# 平成 22 年度 抛出委託単価について

公益財団法人日本容器包装リサイクル協会

## 「抛出委託単価」算出の計算式

$$\text{抛出委託単価} = \frac{(\text{想定額} - \text{「現に要した費用」の見込金額}) \times 1/2}{\text{特定事業者からの再商品化委託申込量の総量}} \times 1.05$$

### <平成 22 年度 抛出委託単価の算出根拠>

		想定額 (円)	「現に要した 費用」の見込額 (円)	$= (\quad - \quad) \times 1/2$ 合理化抛出金 の見込額 (円)	再商品化 委託申込 見込量 (トン)	平成 22 年度 抛出委託 単価 (円/トン)
ガラスびん	無色	306,833,670	407,824,600	0	164,929	0
	茶色	374,003,379	435,838,596	0	135,762	0
	その他	537,717,139	649,240,830	0	100,551	0
P E T ボトル		954,104,945	260,531,633	346,786,656	249,093	1,500
紙製容器包装		144,258,171	53,600,000	45,329,085	37,700	1,300
プラスチック製容器包装		52,750,708,355	33,897,087,000	9,426,811,000	964,000	10,300

注 1) 市町村への合理化抛出金は、想定額よりも「現に要した費用」が下回ってはじめて抛出されます。

注 2) 計算の結果、 $= (\quad - \quad) \times 1/2$ がマイナスあるいは 0 (ゼロ)となる場合、抛出委託単価は 0 (ゼロ)となり、合理化抛出金は生じません。

注 3) 合理化抛出金の見込額、再商品化委託申込見込量、抛出委託単価は端数調整しています。

### 平成 22 年度 想定額の求め方 (「想定単価」×「想定量」)

素材別 / 再商品化手法別		想定単価 (円/トン)	想定量 (トン)	想定額 (円)
ガラス びん	無色	2,921	105,044.050	306,833,670
	茶色	3,649	102,494.760	374,003,379
	その他	5,184	103,726.300	537,717,139
P E T ボトル		4,739	201,330.438	954,104,945
紙製容器包装		4,642	31,076.728	144,258,171
プラスチック製 容器包装	材料リサイクル(トレイ)	43,075	939.412	52,750,708,355
	材料リサイクル(トレイ以外)	94,658	343,581.850	
	油化	84,904	3,351.600	
	高炉還元剤化	68,089	31,170.750	
	コークス炉原料化	62,499	197,128.740	
	合成ガス化	65,824	82,951.110	

注 1) 想定量は特定事業者負担分のみ。 注 2) 想定単価、想定額は消費税を含まず。